

第6次高浜市総合計画 中期基本計画

施策課題カルテ

目標	(7)みんなでまちをきれいにします
----	-------------------

〔とりまとめG〕 市民総合窓口センター 市民生活グループ

I. 目標と目標の達成状況

1. 目指す姿と目安となる指標						
目標	(7)みんなでまちをきれいにします					
目標達成に向けての考え方	人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と力を合わせて環境に配慮した取組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを、次世代に引き継ぎます。					
目標が達成された姿	① 資源化が進み、ごみの量が減っています。 ② ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。 ③ 環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。 ④ 地球環境に対する意識が高まっています。					
指標の状況	みんなで目指すまちづくり指標	現状値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)
	1) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量	545g	536g ↘	538g ↗		490g
	2) 日ごろから省資源や省エネなど環境に配慮した生活をしている人の割合	79.9%	80.9% ↗	78.1% ↘		85%
	3) 環境美化推進員の人数	2,900人	4,263人 ↗	5,634人 ↗		3,500人
2. 市民意識調査結果						
設問	現状値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	
みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う	64.1%	67.4% ↗	70.0% ↗			
3. 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)						
◎中期基本計画期間中(H26~H29)の「指標の状況」や「市民意識調査結果」の結果を踏まえ、指標(目標)が達成できた要因・達成できなかった要因といった分析内容を記載する。 ※平成29年6月に「施策評価」(内部評価)を行う段階で、記入内容を差し替える。						
<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査結果は、策定時と比べ5.9ポイント増加している。特に10歳代の「そう思う」(13.0%)、「どちらかといえばそう思う」(65.2%)と回答した合計が78.2%と高く、これまでの小中学校を中心とした子ども環境美化指導員の登録や環境美化活動による一定の成果と考える。 指標1)「1人1日あたりの家庭ごみの排出量」については、策定時と比べて7グラムの減少となった。目標達成のためには、市民、事業者のさらなる協力が必要となる。 指標2)については、策定時と比べ1.8ポイント減少したが、78.1%と依然高い水準は確保している。分別収集が、市民にとって当たり前の活動として定着していることが伺える。 指標3)「環境美化推進員」については、策定時と比べ2,734人増と大幅な増加となり、目標値を達成することができた。今後とも、子ども達や事業所に対して、環境美化推進員の登録を推進する。 						

4. 「目標」と「みんなで目指すまちづくり指標」の適切性	
指標1) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量	
設定根拠	・平成26年度からスタートした「高浜市ごみ処理基本計画」において、紙ごみのリサイクルを進める予定であることから、現状値から約10%の削減を目標とした。
指標の見直し	◎中期で掲げたこの指標を、後期においても引き継ぐ。
目標値の適切性	◎目標値の設定は適切である。
指標2) 日ごろから省資源や省エネなど環境に配慮した生活をしている人の割合	
設定根拠	・平成25年度(2013年)の目標値が未達成のため、引き続き、同様の目標値として設定。
指標の見直し	◎中期で掲げたこの指標を、後期においても引き継ぐ。
目標値の適切性	◎目標値の設定は適切である。
指標3) 環境美化推進員の人数	
設定根拠	・平成24年度、環境美化推進員に登録された高浜中学校を除く、 ・高浜小学校、吉浜小学校、高取小学校、港小学校、翼小学校及び高浜南中学校で、新規に600人程度、登録してもらうことを目標として設定。
指標の見直し	◎中期で掲げたこの指標を、後期においては、「廃止」する。
目標値の適切性	◎中期で掲げた指標(2,900人から3,500人)を平成27年度実績で5,634人と大幅に目標値を達成としたため。

Ⅱ. 目標達成のための取り組み

1. 「こんなことに取り組みます！」を構成するアクションプラン一覧

こんなことに取り組みます！	アクションプラン事業名	
(1) 「高浜市みんなでまちをきれいにしよう 条例」を推進します。	H26	【No.32】 みんなでまちをきれいにします事業
	H27	【No.31】 みんなでまちをきれいにします事業
	H28	【No.31】 みんなでまちをきれいにしよう事業
	H29	【No.29】 みんなでまちをきれいにしよう事業
(2) 「高浜市ごみ処理基本計画」に基づき、 紙ごみのリサイクルをはじめ、ごみの減 量化に取り組みます。	H26	【No.32】 みんなでまちをきれいにします事業
	H27	【No.31】 みんなでまちをきれいにします事業
	H28	【No.31】 みんなでまちをきれいにしよう事業
	H29	【No.29】 みんなでまちをきれいにしよう事業
(3) 地域・学校・事業者・関係機関と連携し た環境美化活動、環境保全活動に取り組 むこととし、不法投棄対策を積極的に進 めます。	H26	【No.32】 みんなでまちをきれいにします事業
	H27	【No.31】 みんなでまちをきれいにします事業
	H28	【No.31】 みんなでまちをきれいにしよう事業
	H29	【No.29】 みんなでまちをきれいにしよう事業

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(1)「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推進します。		
アクションプラン 事業名	H26・H27 みんなでまちをきれいにします事業 H28・H29 みんなでまちをきれいにしよう事業	担当部・グループ	市民総合窓口センター 市民生活グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①市民と行政による「生活環境問題研究会」を発足させた。		H26.6
	②生活環境問題研究会において分別便利帳を作成した。		H27.3
平成27年度	①環境政策に関する検討組織「生活問題研究会」を設置した。		H27.4～
	②雑草が繁茂している土地等の所有者に対し、適正管理するよう文書を送付した。		H27.4～
平成28年度	①高浜エコハウスで資源ごみ分別学習を開催した。		H28.4～
	②小学校と協力し、職員が講師となり環境学習等を実施した。		H28.7
	③生ごみ処理機の補助金を増額した。(上限2万円から上限3万円へ)		H28.10
平成29年度 (予定)	①高浜エコハウスで資源ごみ分別学習等を開催する。		H29.4～
	②小学校と協力し、職員が講師となり環境学習等を実施する。		H29.4～
	③小中学校の子ども環境美化推進員の登録と活動支援を継続する。		H29.4～
	④雑草が繁茂している土地所有者に対し、適正管理するよう文書を送付する。		H29.4～
「目標が達成された姿」の実現 に向けての 成果・課題	<p>【成果】</p> <p>◎町内会長OB等で組織し、環境政策に関する検討組織である「生活問題研究会」を設置した。</p> <p>◎環境美化推進員に登録された小中学校等の環境美化活動を支援した。</p> <p>【課題】</p> <p>◎市民、事業者の「環境美化活動」に対する意識向上と協力が必要である。</p>		
特記事項			

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(2)「高浜市ごみ処理基本計画」に基づき、紙ごみのリサイクルをはじめ、ごみの減量化に取り組みます。		
アクションプラン 事業名	H26・H27 みんなでまちをきれいにします事業 H28・H29 みんなでまちをきれいにしよう事業	担当部・グループ	市民総合窓口センター 市民生活グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①高浜エコハウスで、粗大ごみの受付を開始した。		H26.5
	②資源化率向上のため、分別収集特別拠点を拡充した。		H26.5
平成27年度	①不燃物埋立場で埋立方式からリサイクル方式に変更した。		H27.4～
	②高浜エコハウスにおいて、資源ごみ分別学習を開催した。		H27.4～
	③町内会の協力を得ながら、資源ごみ分別収集を継続して実施した。		H27.4～
平成28年度	①高浜エコハウスで資源ごみ分別学習を開催した。		H28.4～
	②小学校と協力し、職員が講師となり環境学習等を実施した。		H28.7
	③生ごみ処理機の補助金を増額した。(上限2万円から上限3万円へ)		H28.10
平成29年度 (予定)	①高浜エコハウスで資源ごみ分別学習等を開催する。		H29.4～
	②小学校と協力し、職員が講師となり環境学習等を実施する。		H29.4～
	③小中学校の子ども環境美化推進員の登録と活動支援を継続する。		H29.4～
	④雑草が繁茂している土地所有者に対し、適正管理するよう文書を送付する。		H29.4～
「目標が達成された姿」の実現に向けての 成果・課題	<p>【成果】</p> <p>◎町内会長OB等で組織し、環境政策に関する検討組織である「生活問題研究会」を設置した。</p> <p>◎さらなるごみの減量化を目指し、生ごみ処理機の補助金額を増額した。(H28.10～) 上限 20,000 円 (3 分の 1) から上限 30,000 円 (2 分の 1) へ</p> <p>【課題】</p> <p>◎市民、事業者の「ごみ減量化」に対する意識向上と協力が必要である。</p> <p>◎新たなごみ減量化の施策を検討する必要がある。</p>		
特記事項			

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(3)地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境美化活動、環境保全活動に取り組むこととし、不法投棄対策を積極的に進めます。		
アクションプラン 事業名	H26・H27 みんなでまちをきれいにします事業 H28・H29 みんなでまちをきれいにしよう事業	担当部・グループ	市民総合窓口センター 市民生活グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①市内小中学校で体験型の環境学習の検討を開始した。		H26.6
	②高浜高校が新たに環境美化推進員に登録された。		H26.11
	③高取小学校が新たに環境美化推進員に登録された。		H26.12
平成27年度	①環境政策に関する検討組織「生活問題研究会」を設置した。		H27.4～
	②職員が講師となり、小学校で環境学習を実施した。		H27.10
	③子ども環境美化推進員の登録と活動支援を実施した。 (吉浜小学校、南中学校が、新たに環境美化推進員に登録)		H28.3
平成28年度	①高浜エコハウスで資源ごみ分別学習を開催した。		H28.4～
	②小学校と協力し、職員が講師となり環境学習等を実施した。		H28.7
	③生ごみ処理機の補助金を増額した。(上限2万円から上限3万円へ)		H28.10
平成29年度 (予定)	①高浜エコハウスで資源ごみ分別学習等を開催する。		H29.4～
	②小学校と協力し、職員が講師となり環境学習等を実施する。		H29.4～
	③小中学校の子ども環境美化推進員の登録と活動支援を継続する。		H29.4～
	④雑草が繁茂している土地所有者に対し、適正管理するよう文書を送付する。		H29.4～
「目標が達成された姿」の実現に向けての 成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域・学校・事業者・関係団体と連携した環境美化活動、環境保全活動を実施されている。 ◎道路や公園などに、ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっている。 ◎環境学習講座や水生生物調査などを開催し、子どもに環境について考える機会を提供した。 ◎環境美化推進員に登録された小中学校等の環境美化活動を支援した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域・学校・事業者・関係団体の「環境美化活動」、「環境保全活動」への理解と協力が必要である。 		
特記事項			

Ⅲ. 今後の取り組みの方向性

1. 今後予想される社会変化や動向、新たな課題

- ・町内会による分別収集拠点について、町内会と協力し、運営方法、拠点数、収集時間、町内会への支援方法など、今後の分別収集のあり方を検討する必要がある。

2. 今後、特に力を入れる取り組み（優先度の高いもの3つ）

(1)「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」の推進

- ・環境政策に関する検討組織である「生活問題研究会」において、市民、事業者の「環境美化活動」に対する意識向上策を検討する。

(2)「高浜市ごみ処理基本計画」に基づくごみの減量化

- ・「生活問題研究会」において、市民、事業者の「ごみ減量化」に対する意識向上策や新たなごみ減量化の施策を検討する。

(3) 地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境美化・保全活動

- ・環境美化推進員に登録された小中学校等の環境美化活動を支援するとともに、学校と協力し、環境学習講座や水生生物調査などを開催する。
- ・町内会と協力し、分別収集拠点の運営方法、拠点数、収集時間、町内会への支援方法などを検討する。

Ⅳ. 施策(目標)構成の検証

--